

## H29年度 年少組 保育の工夫した点

### ☆カメの玩具

プール遊びの際、てんかん持ちのA児が他児と同じプールに入れられないため、水深の浅いプールでも楽しめるようにと制作した。

プール遊びが終了した後も、室内でも遊びに使用した。



### ☆どんぐり

作品展で使用するにあたり子どもたちから集めた。

どんぐりに親しみを持ってもらうために、自由に触れられるコーナーを作った。

また、図鑑のページをコピーし一緒に掲示しどんぐりにも様々な種類があることを知ってもらえるよう工夫した。

また作品展で余ったものはままごとに使用し、2学期から3学期通して人気の遊びとなった。



### ☆虫探しカード

戸外遊びの際に「この虫なんて名前？」と虫や生き物に興味を持つ様子が伺えた。虫の名前が分からない時には、図鑑を持ってきて調べることもあった。より一層興味を持ってもらえたらと思い、虫などを見つけた数に応じてシールを貼れる『虫探しカード』を作った。戸外遊びの際は子どもたちが好きな時間に自由にそのカードを持ち出し活動できるようにした。



## ☆紐通し

指先が器用に使えるようになってほしい、集中力をつけてほしいという願いから、紐通しの玩具を作った。紐通しを用意して間もなく進級となったので、進級後も継続して続けてほしい。



## ☆保育室内のライン

すぐに保育室内を走り回る子が多く、「座ろうね」の声掛けをしてもすぐに座れない子が多くいた。窓際とロッカーの前にそれぞれビニールテープで赤の線、青の線を引き、「赤の線に座りましょう」等と促すと、すぐに座ることが出来るようになった。

椅子の片付けが苦手だった子どもたち。言葉で「6列にして、重ねるのは5個までだよ」と言っても中々伝わらな  
かった。そのため椅子を片付ける場所にビニールテープで四角く囲むことでその範囲内に収めて片付けることが出来るようになった。

## ☆グループ活動

10月の作品展の共同制作にてロボットを作る際、6グループに分かれそれぞれが腕や脚

等のパーツを作る活動を行った。初めての子ども主体で行う活動に、最初は意見が出ず話し合いにならないことが多く、保育者の援助が必要だった。

継続して11月のお店屋さんごっこにて同じグループで活動を行った。「僕はこっちがいい!」と自分の意見を言えるようになったり「こっちでいい?」と同じグループの友だちを気遣い意見を求めようとする姿も見られた。

### ☆選択保育のグループ決め

三学期より、自分たちで行きたいところを選ぶようにした。ひとつの場所で多い時には話し合いで動いてもらったり、子どもたちに解決策を出してもらったりした。

### ☆着替え

二学期より、着替えを早く終わった子どもからホワイトボードに名前を書いた。意欲的に着替えに取り組む子どもが多くなった。

### ☆降園時の着替え後の絵本タイム

着替えを済ませた子どもから保育室内にある好きな本を選び、保育者に読んでもらうというのを毎日行っていた。落ち着いて、時には膝にのせて読んだりすることで信頼関係を築き、コミュニケーションをとる良い機会となった。

### ☆子どもたちの良いところを保育者全員で共有する

子どもたちの名前の表を作って保育中はホワイトボードに貼って、それぞれが良いところを見つけた時に書き込めるようにする。フォトフォリオに生かすことが出来た。



黒で塗りつぶしてある箇所に  
個人名を記入しています